

# 薬草園だより

No.64  
September.7 2013

今年は例年に比べてとても暑いですね...  
暦ではもう秋なのにまだまだ暑い！  
昼には30度を超える薬草園、果たしてどのような花が咲いているのでしょうか？

ルールを守って  
楽しく見学!!

## 色彩が変化する花

温室の西に咲いている右と下の花はワタの花です。  
ワタの花を観察していると、一株から白と薄い赤の  
二種の花が咲いていることに気がつくかもしれません。  
これは開花直後は白い花が、紫外線に曝される事で  
アントシアニンが産生されて赤く着色される事に因ります。



右写真の花の横に見えるものは蒴果と  
呼ばれ、熟すと裂けて綿毛が吹き出し  
ます。左の写真のように萎んだ後は蒴果になります



和名：ワタ(シロバナワタ) 生薬名：綿花子(メンカシ) など  
アオイ科 ワタ属 *Gossypium herbaceum* L.  
含有成分(実)：綿実油約20%、ゴシポール約0.6%  
薬効(実)：煎じて催乳薬とされる。

## 他にも薬草園には・・・食べられる植物(の花)がいっぱい!! でも勝手に食べないで下さいね

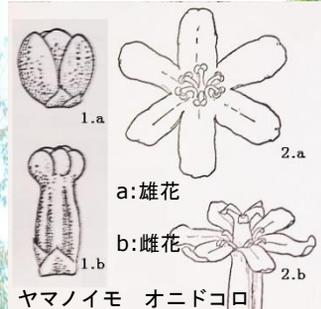


←和名：オニドコロ ヤマノイモ科ヤマノイモ属  
*Dioscorea tokoro* Makino 生薬名：菟薺(ヒカイ)  
含有成分：ジオスシン<sup>1-3</sup>、ジオスコレア-サポトキシンA<sup>2-4</sup>等  
薬効：消炎、利尿、リウマチ、腰や膝の疼痛  
古くは救荒植物として根を飢饉の際に食べたそうですが、有毒で  
灰汁抜きや天日に晒すなどの工程が必要です。この毒を用いて  
川魚を麻痺させて捕ることもできるとか(やらないで下さいね)  
雌雄異株でこちらは雄花枝です。



オニドコロの近縁種にはヤマノイモ (*Dioscorea japonica* Thunb.)があります。葉では区別が難しい二種ですが  
ヤマノイモの雄花は右図のように球形で、オニドコロでは  
5枚の花被片が平開しているため区別が出来ます。  
野生の物を採るときは注意したいところですね。

↑こちらはほぼ原寸大の長芋(*Dioscorea batatas* Decne.)のむかご  
ヤマノイモの近縁種でむかごは炊き込みご飯などにすると美味とか。



ヤマノイモ オニドコロ  
(原色日本植物図鑑より)



他にも左のトウガン(冬瓜 うり科トウガン属)の雄花や、  
ニラとウコンの白い花、セイヨウハッカの紫の花が咲いています。  
皆さんも是非薬草園に足を運んでみて探してみてください。  
日差しが弱く、涼しい朝方がおすすめですヨ!!